

鎌倉武士の識字能力(literacy)は低い

平重衡の1180年南都焼打ち(東大寺・興福寺)

	院政期文化 (貴族層が民衆文化を受容, 独自の地方文化が発展)	鎌倉文化 (公武二元文化, 禅宗文化の影響)	南北朝文化
建築	<p>[阿弥陀堂] (阿弥陀堂建築の地方普及)</p> <p>中尊寺金色堂 (陸奥国平泉に藤原清衡が建立)</p> <p>富貴寺大堂 (豊後国(大分県))</p> <p>白水阿弥陀堂 (陸奥国(福島県))</p> <p>三仏寺投入堂 (伯耆国(鳥取県))</p>	<p>東大寺南大門=大仏様 (天竺様)</p> <p>★重源(俊乗坊)の指導・陳和暉(宋の工人)の協力</p> <p>円覚寺舍利殿=禅宗様 (唐様)</p> <p>蓮華王院本堂=和様 (日本風建築)</p> <p>観心寺金堂=折衷様 (新和様)</p>	<p>東大寺南大門金剛力士像 (運慶・快慶ら)</p> <p>東大寺僧形八幡神像 (快慶)</p> <p>興福寺無著像・世親像 (運慶ら)</p> <p>興福寺天灯鬼像・竜灯鬼像 (康弁ら)</p> <p>六波羅蜜寺空也上人像 (康勝)</p>
絵画	<p>[装飾経] (経典に特別な装飾をほどこしたもの)</p> <p>[扇面古写経] (大和絵の上に経文を墨書)</p> <p>[平家納経] (平清盛が厳島神社に奉納)</p> <p>★厳島神社参詣のために音戸頼戸(安芸国)を開削</p> <p>[絵巻物] (絵画と文書を交互に記したもの)</p> <p>[源氏物語絵巻] ([源氏物語]が題材)</p> <p>★藤原隆能が引目鉤鼻・吹抜屋台の手法で描く</p> <p>[伴大納言絵巻] (応天門の変(866)が題材)</p> <p>[鳥獣戯画] (動物を擬人化して世相を風刺)</p> <p>[信貴山縁起絵巻] (僧命蓮に関する奇跡談)</p>	<p>[似絵] (写実的な大和絵の肖像画)</p> <p>藤原隆信(父)『源頼朝像・平重盛像』</p> <p>藤原信実(子)『後鳥羽上皇像』</p> <p>[頂相] (禅宗で師から与えられる師の肖像画)</p> <p>[絵巻物] (絵画と文書を交互に記したもの)</p> <p>[北野天神縁起絵巻] (菅原道真の生涯を描く)</p> <p>[春日権現験記] (建築現場の様子を描く)</p> <p>[一遍上人絵伝] (備前国福山市の様子)</p> <p>[蒙古襲来絵巻] (肥後の御家人竹崎季長)</p> <p>[男衾三郎絵巻] (武蔵国の武士の生活)</p>	<p>[水墨画] (禅の精神を墨の濃淡で描く)</p> <p>默庵『布袋図』</p> <p>可翁『寒山図』</p> <p>— [工芸(鎌倉文化)] —</p> <p>①刀工=栗田口吉光(京都)『今日はアワ長船長光(備前) ビデオッサ岡崎正宗(鎌倉) ン構おうか』</p> <p>②甲冑=明珍(京都の甲冑製作の名家)</p> <p>③陶器=加藤藤正(尾張の瀬戸焼の祖?)</p>
文学	<p>[軍記物語]</p> <p>『将門記』(平将門の乱が題材)</p> <p>『陸奥話記』(前九年の役が題材)</p> <p>[歴史物語]</p> <p>『栄花(華)物語』(道長の栄華を賛美し記述)</p> <p>★赤染衛門(女流歌人)の作といわれる</p> <p>『大鏡』(道長の栄華を批判的に記述)</p> <p>[説話文学]</p> <p>『今昔物語集』(源隆国が著したとされる?)</p> <p>本朝・天竺・震旦の3国から成る仏教等説話集</p>	<p>[軍記物語]</p> <p>『平家物語』(琵琶法師の平曲で庶民に流行)</p> <p>『源平盛衰記』(平家物語を増補したもの)</p> <p>[歴史書・歴史物語]</p> <p>『吾妻鏡』(鎌倉幕府の記録を編年体で記述)</p> <p>『愚管抄』徳川(天台座主)の道理による歴史書)</p> <p>『今鏡』→『水鏡』</p> <p>[説話文学] (庶民用に平易な文章)</p> <p>『古今著聞集』(橋成季が著した古今の説話集)</p> <p>『沙石集』(無住が著した庶民的な仏教説話集)</p> <p>[私設図書館]</p> <p>金沢文庫 (北条実時が設立した私設図書館)</p> <p>好學の武士も</p>	<p>[軍記物語]</p> <p>『太平記』(南北朝の動乱が題材)</p> <p>★南朝に同情的な記述が多い</p> <p>[歴史書・歴史物語]</p> <p>『神皇正統記』(南朝の正統性) 北畠親房</p> <p>『梅松論』(北朝の正統性)</p> <p>『増鏡』(公家の立場から記述した歴史物語)</p> <p>— [日記・随筆(鎌倉文化)] —</p> <p>『玉葉』(九条兼実(摂政・関白)の日記)</p> <p>『十六夜日記』(阿比尼の京都・鎌倉の日記)</p> <p>『方丈記』(鴨長明の随筆) = 鎌倉前期</p> <p>『徒然草』(吉田兼好の随筆) = 鎌倉後期</p>
詩歌	<p>(八代集の編纂)</p> <p>武家政権の隆盛=公家政権が後退</p> <p>(1) 和歌を重視して公家の教養を強調</p> <p>(2) 昔を懐かしむようになる(懷古主義)</p> <p>→ 有職故実(朝廷の儀式などを研究)</p>	<p>[勅撰和歌集]</p> <p>『新古今和歌集』(八代集の最後)</p> <p>後鳥羽上皇の命で藤原定家・家隆らが編纂</p> <p>[私撰和歌集]</p> <p>『金槐和歌集』(源実朝)</p> <p>『山家集』(西行) もと北面の武士</p>	<p>[連歌] (上の句と下の句を交互に読み合わせる)</p> <p>二条良基</p> <p>『菟玖波集』(最初の連歌集→準勅撰となる)</p> <p>『応安新式』(連歌の規則書)</p>
学問	<p>[有職書] (朝廷の儀式・年中行事などを記す)</p> <p>源高明『西宮記』(国風文化)</p> <p>藤原公任『北山抄』(国風文化)</p> <p>大江匡房『江家次第』(院政期文化)</p>	<p>[有職故実] (朝廷の儀式や年中行事を研究)</p> <p>順徳天皇『禁秘抄』</p> <p>[古典研究]</p> <p>卜部兼方『釈日本紀』(日本書紀の注釈書)</p>	<p>[有職故実] (朝廷の儀式や年中行事を研究)</p> <p>後醍醐天皇『建武年中行事』</p> <p>北畠親房『職原抄』(1340)</p>
芸能	<p>散楽(奈良時代に伝わる)</p> <p>→ 猿楽 (滑稽を主とした雑芸)</p> <p>→ 田楽 (田植祭りの際の歌舞)</p> <p>芸として専門的に演じる者が登場</p> <p>→ 演劇(能)としての仕組みを整える</p>	<p>大和猿楽四座=観世座(もと結崎座)・金春座・宝生座・金剛座</p> <p>(田楽の要素を取り入れる)</p> <p>[茶道(茶の湯)]</p> <p>抹茶の伝来(栄西が宋から伝える)</p> <p>ex. 『喫茶養生記』(源実朝に献上)</p>	<p>[茶道(茶の湯)]</p> <p>茶寄合(多人数で開かれた娯楽的な茶会)</p> <p>闘茶(茶の種類や産地を飲みあてる競技)</p>

	足利義満時代 北山文化	足利義政時代 東山文化	安土・桃山時代 桃山文化
	(公家文化を基礎に武家文化が発展、禅宗文化の影響)	(伝統的な日本文化の形成、中央文化の地方普及)	(新興武家などの豪壮・華麗な文化、南蛮文化の影響)
建築	鹿苑寺金閣 (足利義満が京都北山山荘に建立)	慈照寺銀閣 (足利義政が京都東山山荘に建立) 慈照寺東求堂同仁斎 (書院造の義政の書斎) 慈照寺庭園 (山水河原者(作庭師)の善阿弥の作) 「枯山水」(岩石で滝、砂利で水を表現した庭園) 龍安寺石庭・大徳寺大仙院庭園	「城郭」(天守閣を持つ本丸を中心とする建築) 大坂城 (豊臣秀吉が1583年に築城) 聚楽第 (秀吉晩年の邸宅兼城郭→後陽成天皇行幸) 伏見城 (秀吉晩年の邸宅兼城郭→江戸時代に破却) 姫路城 (池田輝政が1609年に改築した平山城)
絵画	「水墨画」(禅の精神を墨の濃淡で描く) 明兆 → 如拙 → 周文 瓢鮎図	「水墨画」(禅の精神を墨の濃淡で描く) 雪舟 (日本の水墨山水画を大成) 『四季山水図巻(山水長巻)』 『秋冬山水図』・『天橋立図』 [大和絵](日本風絵画の総称) 土佐派 = 土佐光信 (大和絵の主流) 狩野派 (水墨画に大和絵の手法を取り入れる) 狩野正信(父)『周茂叔愛蓮図』 狩野元信(子)『大仙院花鳥図』	「障壁画」(屏風・障子・襖などに描かれた絵画) 濃絵 (金碧に青・緑などの濃彩で描いた障壁画) 狩野永徳 (狩野元信の孫) 『唐獅子図屏風』・『繪図屏風』 『洛中洛外図屏風』(信長が上杉謙信に贈る) 狩野山楽『牡丹図』・『松鷹図』 長谷川等伯 (雪舟5代を自称) 『智積院襖絵』・『松林図屏風』 海北友松『山水図屏風』 「南蛮屏風」(南蛮人の風俗を狩野派が描く南蛮文化の影響)
文学	「軍記物語」 『難太平記』(今川貞世(了俊)) ★北朝の立場から『太平記』中の誤りを訂正 「五山文学」(五山の僧による漢文学・漢詩文) → 五山版 (五山の僧によって出版された書籍) 義堂周信 (南禅寺の五山文学僧) 絶海中津 (相国寺の五山文学僧)	「御伽草子」(室町時代の庶民的な短編物語) ex.『浦島太郎』・『一寸法師』 『物くさ太郎』・『酒吞童子』 庶民の富裕層の識字率が向上 「教育」 足利学校 (上杉憲実が再興した学校施設) ★ザビエルから「坂東の大学」と称される 儒学普及 桂庵玄樹 (薩南学派の祖) (地方伝播) 南村梅軒 (海南学派の祖) 庶民教育『庭訓往来』(庶民教科書) 『節用集』(国語辞典)	(江戸時代の仮名草子に大きな影響を与える) 「活字印刷術」 ①活字印刷術(ヨーロッパ式) ★ヴァリヤーニが伝えた銅活字の印刷術 → 天草(キリタン)版 (エビス会の出版物) 『どちらに＝きりしたん』 『天草版平家物語』 ②活字印刷術(朝鮮式) ★朝鮮出兵で伝えられた木活字の印刷術 → 慶長勅版 (後陽成天皇の命で出版)
詩歌		「連歌」(上の句と下の句を交互に読み合わせる) 宗祇 (正風連歌を確立) = 連歌を大成 『新撰菟玖波集』(準勅撰の連歌集) 『水無瀬三吟百韻』(宗祇・肖柏・宗長) 「俳諧連歌」(連歌から生じた五・七・五の短詩) 山崎宗鑑『大筑波集』(俳諧連歌集)	
学問	謡曲 (能の脚本→観阿弥・世阿弥の作が多い) 狂言 (風刺性の強い喜劇でしばしば上演停止)	「有職故実」(朝廷の儀式や年中行事を研究) 一条兼良『公事根源』(有職故実書) 「古今伝授」(古今和歌集に関する秘事を口伝) 東常縁 → 宗祇 → 三条西実隆	一条兼良 (子は興福寺の僧尋尊) 『花鳥余情』(源氏物語の注釈書) 『樵談治要』(足利義尚の諮問に答える)
芸能	→ 足利義満の保護 猿楽能 (観阿弥(父)・世阿弥(子)が大成) 『風姿花伝(花伝書)』(世阿弥の能楽書) 「申楽談儀」(世阿弥の秘伝を二男元能が筆録)	「小歌」(庶民に広く流行した民間歌謡) 『閑吟集』(1518年に成立した小歌集) 「幸若舞」(桃井直詮が創始→織田信長も愛好) 「茶道(茶の湯)」 一休宗純(大徳寺の僧)から 禅の精神を学んで取り入れる 村田珠光 (詫び茶を創始) 武野紹鷗 (詫び茶を簡素化)	「隆達節」(高三隆達が節付けした小歌) 「人形浄瑠璃」(浄瑠璃節+人形操り+三味線) 「阿国歌舞伎」(出雲阿国が創始した踊り) 聚楽第で長次郎に焼かせる 千利休(宗易) (堺の豪商出身→茶楽を指導) (詫び茶を大成) ex. 妙喜庵待庵 (千利休の茶室)

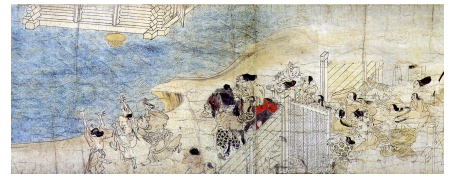
[F] 院政期文化②



〔源氏物語絵巻〕



〔鳥獣戯画〕



〔信貴山縁起絵巻〕

[G] 鎌倉文化



〔東大寺南大門〕



〔円覚寺舎利殿〕



〔蓮華王院本堂〕



〔観心寺金堂〕



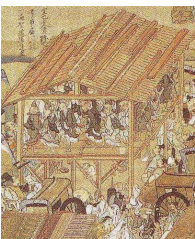
〔東大寺南大門金剛力士像〕



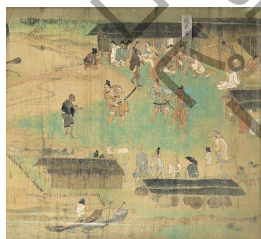
〔興福寺天灯鬼・竜灯鬼〕



〔六波羅蜜寺空也上人像〕



〔踊念仏〕



〔一遍上人絵伝〕



〔北野天神縁起絵巻〕



〔春日権現験記〕



〔蒙古襲来絵詞〕



〔男衾三郎絵巻〕



〔(伝)源頼朝像〕

〔H〕 室町文化



〔鹿苑寺金閣〕



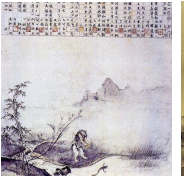
〔慈照寺銀閣〕



〔慈照寺東求堂同仁斎〕



〔龍安寺石庭〕



〔瓢箪図〕



〔四季山水図巻(山水長巻)〕



〔秋冬山水図〕



〔大仙院花鳥図〕



〔田楽〕



〔能の興行風景〕

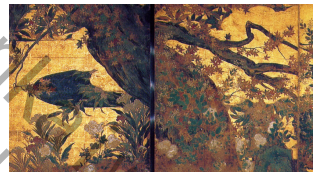
〔I〕 桃山文化



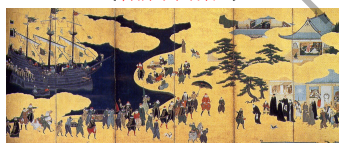
〔姫路城〕



〔唐獅子図屏風〕



〔智積院襖絵〕



〔南蛮屏風〕



〔阿国歌舞伎〕



〔天草版平家物語〕